

特定非営利活動法人  
富士北麓まちづくりネットワーク  
第24回定期総会

日 時:2026年5月23日(土) 午前10時~  
開催場所:富士吉田市立青少年センター赤い屋根  
所在地:富士吉田市上吉田 4433-1  
電 話:0555-23-7252



新倉山浅間公園から（ドローン撮影）

NPO事務所所在地  
〒403-0032  
富士吉田市上吉田東三丁目1番77号  
(富士吉田市立市民ふれあいセンター内)  
電 話:0555-23-0202  
e-mail: bothiw03@friend.ocn.ne.jp  
<https://www.mfi.or.jp/~machizukuri/>

特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワーク

## 第24回 定期総会 次第

日時：2026年5月23日（土）午前10時～

場所：青少年センター赤い屋根

開会のことば 司会（渡邊義広）

1. 代表挨拶
2. 議長選出
3. 出席者数確認（正会員 61 名 委任状を含む 31 名以上）
4. 議事録作成人指名
5. 議事録署名人の選任 2 名
6. 議案審議

第1号議案 2025年度NPO事業報告及び収支報告

1. 2025年度事業・活動経過報告（飯田勇夫）
2. 市民ふれあいセンター管理・運営状況（佐藤雄三）
3. 青少年センター管理（食育含む）・運営状況（齋藤容子）
4. 監査報告

第2号議案 役員改選（自2026年総会の日～至2028年総会の日まで、任期2年）  
（休憩）定款14条により代表理事、副代表理事は、理事の互選により定める。

1. 理事会決定報告（渡邊義広）
2. 旧役員 退任挨拶
3. 新役員 就任挨拶

第3号議案 2026年度NPO事業計画及び予算（案）

1. 2026年度事業計画（飯田勇夫）
2. 市民ふれあいセンター管理運営事業報告（佐藤雄三）
3. 市立青少年センター管理（食育含む）事業計画（齋藤容子）

7. 議長解任

8. その他

1. 10年会員へ記念品贈呈 2名
2. 新会員挨拶

閉会のことば 司会（渡邊義広）

特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワーク

## 沿革・目的・活動内容

### 1. 設立、認証

法人設立日：2003年 1月25日

法人成立日：2003年 5月26日

### 2. 沿革・目的

21世紀は幕を開けたが、わが国の経済は更に深刻化し、未だ改善のための有効な手段方策を見いだせず今日に至っています。

またその一方では、地方自治の分権化が推し進められ、各自治体は財政的にも独自で活路を見いだすことをますます迫られてきています。

こうした切迫した情勢の中、富士北麓に生きる私たち有志は常日頃から、加速しつつある少子高齢化を憂い、商店街の空洞化と過疎化に将来の不安を感じ、地域の活性化のための方策を模索してきました。

そして市町村合併が議論されるなかはじまったのが、地域の再生活動であります。この活動が実を結ぶ事を目標に特定非営利活動法人「富士北麓まちづくりネットワーク」を立ち上げ、より効果的実質的活動を展開していくことを組織化し確認をしてきました。この組織の目指すところは

- 1) 富士を擁する国際交流都市という特色を生かした共存共栄の町づくり
- 2) 地域産業の活性化と雇用の創出で心豊かな共生社会を実現する
- 3) 異文化交流を活発化することで国際交流都市としての知名度の高揚に貢献する

### 3. 活動

この目的達成のために、多くの専門知識や技能・技術を持った人、ただただ地域の将来子孫の未来を心配している人、行政に携わる職員、市民のため働く議員、企業家や商店主、農家の方や学生さんなど、社会的地位や力や影響力の有無に関係なく「この富士北麓を心豊かな共存共栄のまちにすることを願う」多くの人々がこの組織に集い、富士吉田市の指定管理者として市立ふれあいセンター、市立青少年センターを活動の拠点としている組織です。

## 特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワーク 総会記録

回	開催日	会 場	司会者	議 長	議事録作成	議事録署名人	理事（監事）主な議題
設立総会	2003年1月25日 (平成15年)	市民会館	宮下正男	長田昌仁	法村香音子	三浦三智男 羽田良子	<b>理事</b> ：法村香音子、宮下正男、井東健男、杉本充江、宮下高、長田昌仁（奈良裕子、梶原富久） ・NPO法人手続き決定
第2回	2004年1月31日 (平成16年)	市民会館	井東健男	宮下正男	三浦祥子 遠山直子	三浦祥子 遠山直子	<b>理事</b> ：法村香音子、宮下正男、井東健男、宮下高、佐藤みどり、長田昌仁（奈良裕子、梶原富久） ・定款一部変更、役員任期1年→2年に延長する
第3回	2005年5月12日 (平成17年)	富士レーク ホテル	宮下正男	岡武宏	遠山直子	早川 宏 小松由美子	<b>理事</b> ：法村香音子、宮下正男、井東健男、宮下高、佐藤みどり、三浦祥子（奈良裕子、佐藤みどり）
第4回	2006年2月4日 (平成18年)	富士レーク ホテル	井東健男	水越欽一		北川行夫 川越麗子	<b>理事</b> ：法村香音子、宮下正男、井東健男、宮下高、佐藤みどり、三浦祥子（加々美宝、宮下英司） ・ふれあいセンター指定管理応募決定
第5回	2007年2月3日 (平成19年)	ふれあい センター	渡辺敏雄	岡武宏	渡辺敏雄	佐藤雄三 加藤正貴	<b>理事</b> ：法村香音子、宮下正男、井東健男、宮下高、佐藤みどり、三浦祥子（加々美宝、宮下英司） ・定款一部変更、事務所をふれあいセンター内に置く
第6回	2008年2月8日 (平成20年)	ふれあい センター	渡辺敏雄	遠山直子		宮下正男 小野貞幸	<b>理事</b> ：法村香音子、宮下正男、井東健男、佐藤みどり、三浦祥子、小野貞幸（宮下英司、佐藤雄三）
臨時総会	2008年4月13日 (平成20年)	ふれあい センター	渡辺敏雄	白井敏正		早川 宏 川越麗子	<b>理事</b> ：法村香音子、宮下正男、井東健男、佐藤みどり、三浦祥子、小野貞幸（宮下英司、佐藤雄三） ・（事業）第4条公共事業受諾の追加
第7回	2009年2月1日 (平成21年)	ふれあい センター	渡辺敏雄	加藤正貴	渡辺敏雄	齋藤容子 渡辺照美	<b>理事</b> ：法村香音子、宮下正男、井東健男、佐藤みどり、三浦祥子、小野貞幸（宮下英司、佐藤雄三）

回	開催日	会場	司会者	議長	議事録作成	議事録署名人	理事（監事）主な議題
第8回	2010年4月3日 (平成22年)	ふれあい センター	渡辺敏雄	齋藤容子	渡辺敏雄	川越麗子 渡辺 博	<b>理事</b> ：法村香音子、井東健男、佐藤みどり、小野貞幸、 齋藤容子、渡辺敏雄、(佐藤雄三、渡辺照美) ・定款一部変更、事業年度4月1日～翌3月31日
第9回	2011年5月13日 (平成23年)	青少年 センター	塚野孝志	小野貞幸		早川 宏 木暮ひとみ	<b>理事</b> ：法村香音子、宮下正男、井東健男、佐藤みどり、 三浦祥子、小野貞幸、齋藤容子、渡辺敏雄(佐藤 雄三、渡辺照美) ・青少年センター指定管理受諾
第10回	2012年5月12日 (平成24年)	青少年 センター	井東健男	秋山紀勝	渡辺敏雄	渡辺義幸 川越麗子	<b>理事</b> ：法村香音子、井東健男、佐藤みどり、小野貞幸、 齋藤容子、渡辺敏雄、桑原かほる、佐藤雄三、 (渡辺照美、三浦祥子)
第11回	2013年5月19日 (平成25年)	富士レーク ホテル	渡辺敏雄	加藤正貴	渡辺敏雄	関野忠徳 飯田勇夫	<b>理事</b> ：法村香音子、井東健男、佐藤みどり、小野貞幸、 齋藤容子、渡辺敏雄、桑原かほる、佐藤雄三、(渡 辺照美、三浦祥子) ・役員報酬支給年150万円以内 ・NPO法改正に伴う登記(法務局代表権登記済み) ・会計事務外部委託(志村会計事務所)
第12回	2014年5月24日 (平成26年)	青少年 センター	秋山紀勝	渡辺 博	加藤正貴	渡辺義幸 川越麗子	<b>理事</b> ：法村香音子、小野貞幸、齋藤容子、渡辺敏雄、桑 原かほる、木暮ひとみ、関野忠徳、飯田勇夫、(渡辺義 久、伊藤真由美)
第13回	2015年5月24日 (平成27年)	青少年 センター	渡辺敏雄	渡辺義広	渡辺 博	塚野孝志 渡辺裕子	<b>理事</b> ：法村香音子、小野貞幸、齋藤容子、渡辺敏雄、桑 原かほる、木暮ひとみ、関野忠徳、飯田勇夫、(渡辺義 久、伊藤真由美) ・日本語教育施設創設促進に関する活動の強化 ・組織の若返りを図る

回	開催日	会場	司会者	議長	議事録作成	議事録署名人	理事（監事）主な議題
第14回	2016年5月28日 (平成28年)	青少年センター	渡辺敏雄	秋山紀勝	三浦洋美	桑原かほる 佐藤みどり	<b>理事</b> ：飯田勇夫、齋藤容子、桑原かほる、木暮ひとみ、佐藤雄三、渡辺義広、加藤正貴、三浦洋美、 (小野貞幸、渡辺 博) ・ふれあい・青少年センター指定管理5年受諾
第15回	2017年5月27日 (平成29年)	青少年センター	渡辺敏雄	佐藤みどり	渡辺敏雄	渡辺裕子 堀田享子	<b>理事</b> ：飯田勇夫、齋藤容子、桑原かほる、木暮ひとみ、佐藤雄三、渡辺義広、加藤正貴、三浦洋美、 (小野貞幸、渡辺 博) ・定款一部変更、第2条（事務所）、第5条（事業）、 第56条（公告の方法）
第16回	2018年5月26日 (平成30年)	青少年センター	渡辺敏雄	佐藤みどり	渡辺敏雄	渡辺義幸 佐藤芙蓉恵	<b>理事</b> ：飯田勇夫、齋藤容子、桑原かほる、木暮ひとみ、佐藤雄三、渡辺義広、加藤正貴、三浦洋美 (小野貞幸、渡辺 博) ・
第17回	2019年5月25日 (令和元年)	青少年センター	渡辺義広	佐藤安子	渡辺義広	野間耕二 榊 三男	<b>理事</b> ：飯田勇夫、齋藤容子、木暮ひとみ、佐藤雄三、渡辺義広、渡辺裕子、堀田享子、長山富昭 (小野貞幸、渡辺 博) ・定款一部変更、第2条（事務所）
第18回	2020年5月23日 (令和2年)	青少年センター	渡辺義広	齋藤容子	渡辺義広	堀田享子 木暮ひとみ	<b>理事</b> ：飯田勇夫、齋藤容子、木暮ひとみ、佐藤雄三、渡辺義広、田辺まゆみ、堀田享子、佐藤芙蓉恵 (小野貞幸、早川 宏) ・コロナウイルス影響に伴い特定非営利活動促進法 第14条7により書面表決・表決委任を活用
第19回	2021年5月22日 (令和3年)	青少年センター	渡辺義広	加藤正貴	渡辺義広	堀田享子 木暮ひとみ	<b>理事</b> ：飯田勇夫、齋藤容子、木暮ひとみ、佐藤雄三、渡辺義広、田辺まゆみ、堀田享子、佐藤芙蓉恵 (小野貞幸、早川 宏)

回	開催日	会場	司会者	議長	議事録作成	議事録署名人	理事（監事）主な議題
第20回	2022年5月21日 (令和4年)	富士レーク ホテル	渡邊義広	加藤正貴	渡邊義広	佐藤雄三 田辺まゆみ	<b>理事</b> ：飯田勇夫、齋藤容子、佐藤雄三、渡邊義広、田辺まゆみ、堀田享子、佐藤芙瑤恵、野間耕二 (小野貞幸、早川 宏)
第21回	2023年5月27日 (令和5年)	青少年 センター	野間耕二	加藤正貴	渡邊敏雄	佐藤雄三 田辺まゆみ	<b>理事</b> ：飯田勇夫、齋藤容子、佐藤雄三、渡邊義広、田辺まゆみ、堀田享子、佐藤芙瑤恵、野間耕二 (小野貞幸、早川 宏)
第22回	2024年5月25日 (令和6年)	青少年 センター	渡邊義広	佐藤みどり	渡邊義広	榎 三男 渡邊裕子	<b>理事</b> ：飯田勇夫、齋藤容子、佐藤雄三、渡邊義広、田辺まゆみ、加藤正貴、佐藤芙瑤恵、小野博章 (小野貞幸、早川 宏)
第23回	2025年5月24日 (令和7年)	青少年 センター	渡邊義広	篠原 信	渡邊義広	武藤 正雄 渡邊 裕子	<b>理事</b> ：飯田勇夫、齋藤容子、佐藤雄三、渡邊義広、田辺まゆみ、加藤正貴、佐藤芙瑤恵、小野博章 (小野貞幸、早川 宏)
第24回	2026年5月23日 (令和8年)	青少年 センター	渡邊義広		渡邊義広		

## 2025年度役員

自2024年5月21日、至2026年任期満了の日まで（任期2年）

特定非営利活動法人

富士北麓まちづくりネットワーク

役職名	ふりがな 氏名	住所又は居所	電話番号
代表 理事	いいた いさお 飯田 勇夫		
副代表理事	さいとう ようこ 齋藤 容子		
理 事	さとう ゆうぞう 佐藤 雄三		
理 事	わたなべ よしひろ 渡邊 義広		
理 事	さとう ふ さ え 佐藤 芙瑳恵		
理 事	たなべ 田辺まゆみ		
理 事	お の ひろあき 小野 博章		
理 事	かとう まさき 加藤 正貴		
監 事	お の さだゆき 小野 貞幸		
監 事	はやかわ ひろし 早川 宏		

特定非営利法人 富士北麓まちづくりネットワーク会員、賛助会員名簿

2026年5月23日 第24回総会日現在 正会員 59名

No	入会年月日	氏名	郵便番号	住所
1	2003/01/25	秋山紀勝		
2	2003/01/25	篠原 信		
3	2003/01/25	水越欣一		
4	2003/01/25	佐藤みどり		
5	2003/01/25	渡辺義久		
6	2003/03/04	斉藤容子		
7	2004/01/30	桑原かほる		
8	2004/01/31	佐藤雄三		
9	2004/06/16	小松由美子		
10	2004/08/04	加藤正貴		
11	2004/09/27	早川 宏		
12	2005/06/24	川越麗子		
13	2006/05/19	渡辺照美		
14	2007/03/06	小野貞幸		
15	2008/01/05	渡邊裕子		
16	2009/02/06	北井清一		
17	2010/04/03	鈴木浩之		
18	2010/06/21	三浦洋美		
19	2011/04/11	飯田勇夫		
20	2011/05/10	佐藤安子		
21	2012/05/25	堀田享子		
22	2012/05/25	伊藤真由美		
23	2014/02/22	渡邊義広		
24	2014/07/01	櫻井孝美		
25	2016/01/29	早川富士子		
26	2016/02/04	長山富昭		
27	2017/02/23	野間耕二		
28	2017/03/05	武藤政男		
29	2017/08/23	田辺まゆみ		
30	2017/08/23	飯田絹子		
31	2017/08/23	佐藤芙蓉恵		
32	2017/08/23	渡辺めぐみ		
33	2017/08/23	渡辺明美		
34	2018/01/05	小林友乃		
35	2018/12/05	孫 博威		
36	2019/04/02	榊 三男		
37	2019/06/01	三浦光男		
38	2019/06/01	宮下良子		
39	2019/07/01	上小澤美千代		
40	2019/07/17	湯山修二		
41	2019/07/17	古屋啓子		
42	2019/10/30	渡辺香織		
43	2020/02/07	宮下忠雄		
44	2020/07/25	金子孝治		

網掛けは10年会員

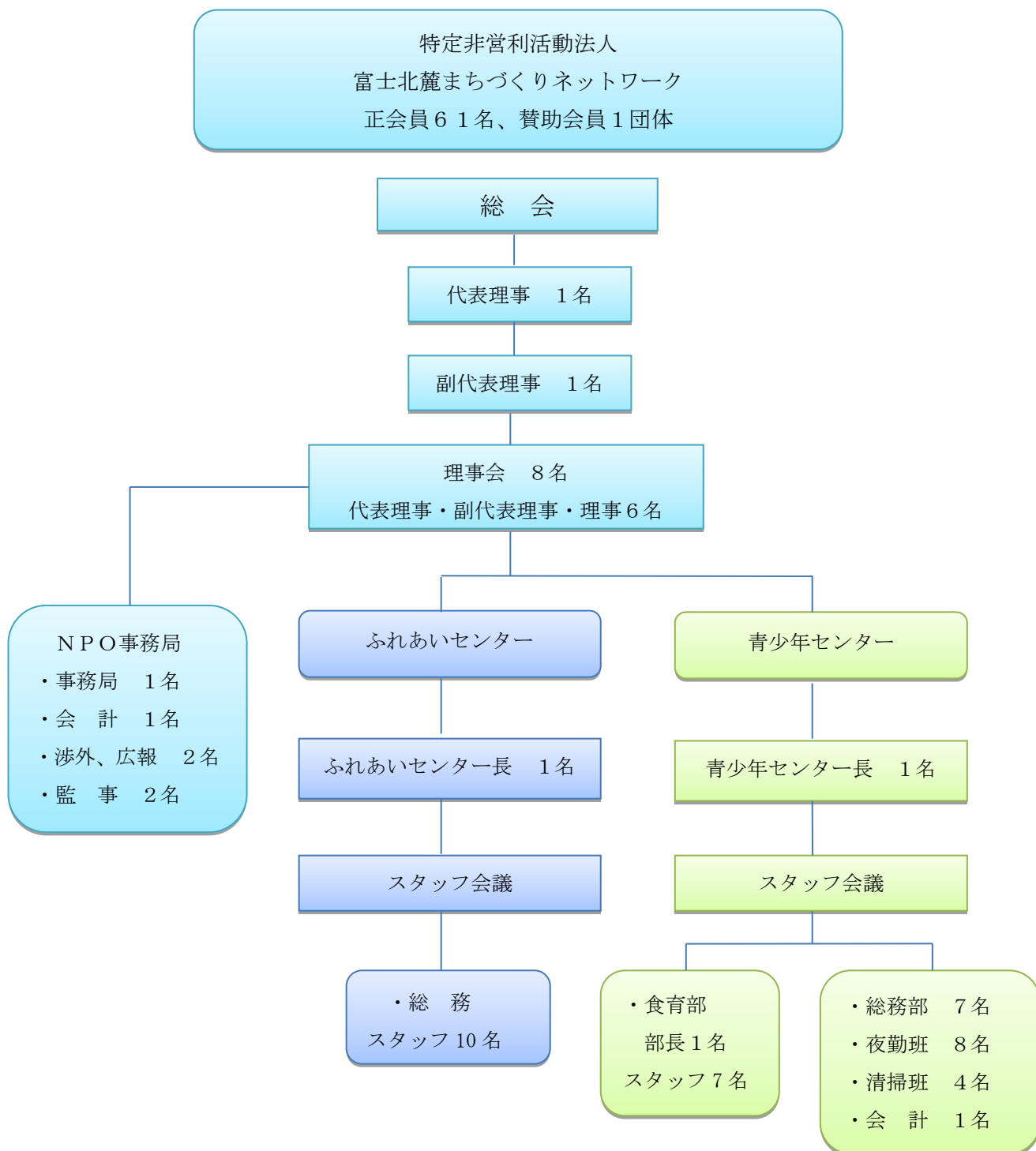
No	入会年月日	氏名	郵便番号	住所
45	2020/07/25	渡邊征夫		
46	2020/07/25	長田敏男		
47	2020/12/01	中田加寿子		
48	2022/05/31	小野博章		
49	2022/07/15	望月ひろこ		
50	2023/02/01	渡辺あき子		
51	2023/04/01	稲村浩子		
52	2023/06/01	宮下博美		
53	2023/11/01	鮎川絹代		
54	2024/4/1	萱沼妙子		
55	2024/12/1	吉村ひとみ		
56	2025/5/6	フォックス咲子		
57	2026/3/8	酒井利樹		
58	2026/3/11	渡辺はる美		
59	2026/4/18	羽田文久		
60	2026/4/18	羽田良子		
61	2026/5/3	舟久保安子		

網掛けは新規会員加入者

### 賛助会員

No	入会年月日	氏名	〒	住所
1	2018/04/01	和光 毅		
2				
3				
4				
5				
6				
7				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				

# 特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワーク組織図



## 2025年度 NPO事業報告並びに収支報告

### 1. 事業報告

- 指定管理にあたる二つの施設及び自主事業とともに順調に通常業務を遂行することができました。
- 青少年センターは、夏の繁忙期の利用状況は想定以上の好実績となり、宿泊者数、売上ともに過去にない数字となった一方、厨房スタッフは連日の業務に追われシフトが非常に厳しい状況になったが何とか乗り切ることができました。また、施設管理は老朽化のため修理修繕に日々追われ、市と協議し熱中症対策のエアコン、スポットクーラー、トイレのウォッシュレット化、浴場改修など受入れ体制の整備を実施することができました。
- 市民ふれあいセンターは例年どおり堅調な利用者を確保することができ、利用者も運営コストも前年並みとなりました。特に本年度は従来の祭り形式からサロン形式のふれセン交流会として計画開催した結果、利用団体の相互の交流が実現したと参加者から好評を得ました。
- NPOの自主事業として従来から開催してきた国際交流事業の「ともだちフェスタ」は、本年度から市主催の「ふじよしだし多文化共生フェスタ」となったため協力団体として連名で事業参加した。当日は、台湾民族舞踊団などが本NPOの紹介で出演したほか、NPOの活動を紹介するパネルを設置して参加者との交流を図った。市が多文化共生事業を実施する運びとなり、本NPOが同じ目的で開催してきた「ともだちフェスタ」を発展的解消することとした。次年度は自主事業として新たな事業を計画する予定です。
- 青少年センターの指定管理について、市は決定事項として青少年センターの指定管理を更新しないと突然の通告が7月にあり。市全体の指定管理事業を見直した結果であることが理由でした。施設管理と運営面では従来にも増して充実した実績を残してきた自信があったので、再検討を強力に申し入れ紆余曲折の経過をたどった結果として、3年間に限り指定管理業務を継続することになりました。
- 今後の課題として、NPO法人の活動は市の指定管理業務終了後の対応や会員の世代交代などを見据えた新たな事業計画を策定する必要があることから、課題解決に向けて会員各位とともに取り組んでいきます。

### 2. 理事会報告

毎月1回、第一水曜日に理事会を実施してきました。

1. 売り上げ目標青少年センター赤い屋根950万円、ふれあいセンター80万円に設定
2. 総会資料確認及び当日の段取り確認
3. 市が計画する「多文化共生事業」にNPOとして参画、11月にフェスタを計画
4. 熱中症対策、市にエアコン設置協議（スポットクーラー3台、和室・研修室に設置）
5. 市の指定管理廃止決定事項について協議、市に再考を申し入れ（青少年センター3年契約）
6. 最低賃金改定による時賃及び手当の見直しを行う。（1,070円/h）
7. 先進地研修は町田市、「NPO法人小野路街づくりの会」交流研修を計画
8. ふれあいセンター交流会、サロン形式で実施を計画
9. 市の多文化共生フェスタ、パネル、茶道、その他配置確認
10. 営業利益より設備維持費としてエアコン、ウォッシュレット設置承認
11. 新規理事に榊 三男、渡辺明美を理事会にて選任
12. 期末手当を支給することを決定。（総額1,015,000円）

### 3. 実施事業

2025年4月1日～2026年3月31日

月	日	曜	事業・活動内容	場 所
25/ 4	9	水	新年度、市との協定書締結	ふれあい・青少年
	9	水	理事会、スタッフ会議 フェスタ・定期総会に向けて	青少年センター
	18	金	第50回「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」 98名参加	青少年センター
	24	木	富士吉田市国際親善委員会 総会	市民会館3階
5	7	水	理事会、スタッフ会議、近隣清掃	青少年センター
	16	金	第51回「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」 111名参加	青少年センター
	24	土	第23回 定期総会 特別表彰 桜井孝美氏	青少年センター
6	4	水	理事会、スタッフ会議、近隣清掃	青少年センター
	12	木	第1回多文化共生フェスタ実行委員会	下コミセンター
	15	日	栗井英朗環境財団様より顕彰式	富士山科学研究所
	18	水	レクホール、和室廊下ワックス掛け	青少年センター
	20	金	第52回「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」 114名参加	青少年センター
	21	土	富士山1・2・3歩、富士山扶桑教、新屋山神社散策	青少年センター
	23	月	ふれあいセンタースタッフ会議	ふれあいセンター
	24	火	敷地・館内、害虫駆除	青少年センター
7	7	月	第2回国際親善委員会	下コミセンター
	9	水	理事会、スタッフ会議 近隣清掃	青少年センター
	12	土	第2回やさしい富士山科学教室「アリ博士」になろう 38名参加	青少年センター
	18	金	緊急理事会、指定管理打ち切り対応策	青少年センター
	18	月	第53回「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」 93名参加	青少年センター
8	4	月	第3回国際親善委員会	下コミセンター
	6	水	理事会、スタッフ会議 夏季一時金 695,000円を決定	青少年センター
	14	木	指定管理説明会出席、飯田・斎藤・佐藤	市役所
	21	木	市役所、加々美部長、柏木次長、山口課長来館、指定管理継続	青少年センター
	22	金	第54回「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」 100名参加	青少年センター
9	3	水	理事会、スタッフ会議 10月より時間 1,070円を決定	青少年センター
	8	月	第4回国際親善委員会	下コミセンター
	19	土	第55回「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」 106名参加	青少年センター
10	3	土	ほのぼのコンサート、しらいみちよさん 60名参加	青少年センター
	8	水	理事会、スタッフ会議 ふれあいセンター交流会実施に向けて	青少年センター
	17	日	第56回「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」 106名参加	青少年センター
	19	日	市民ふれあいセンター、交流会	ふれあいセンター
	23	木	指定管理申請、プレゼンテーション	市役所、
11	5	水	理事会、スタッフ会議	青少年センター
	6	水	第4回国際親善委員会	下コミセンター
	21	金	第57回「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」 106名参加	青少年センター
	24	月	ふじよしだし多文化共生フェスタ開催	市民会館
12	1	月	研修旅行、小野路宿里山交流館、大山阿夫利神社	町田市
	3	水	理事会、スタッフ会議	青少年センター
	19	金	第58回「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」 101名参加	青少年センター
26/1	7	水	理事会、スタッフ会議 新役員改選について、	青少年センター
	16	金	第59回「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」 97名参加	青少年センター
	30	金	第5回国際親善委員会 多文化共生フェスタ反省会と次回予定	下コミセンター
2	4	水	理事会、スタッフ会議	青少年センター
	20	金	第60回「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」 100名参加	青少年センター
3	4	水	理事会スタッフ会議	青少年センター
	20	金	第61回「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」 100名参加	青少年センター
	23	月	ふれあいセンタースタッフ会議	ふれあいセンター

## 市民ふれあいセンター管理・運営状況

報告：佐藤雄三

コロナが第5類に移行後2年が経過し、コロナ前の水準に戻ってきた一年でした。そんな中、スタッフ10名一丸となって運営に当たり、コロナ対策を継続しつつ、業務の遂行を図ってきました。

引き続き、県内及び北麓地域のコロナとインフルエンザの発生状況その都度掲示し周知しました。

また、利用者の皆さんにも消毒や清掃等協力いただき、ウィルス対策に備えてきました。

### 1. 利用者数、使用料収入

コロナの影響が収まり以前の状態に近づいてきました。

しかし、いくつかの団体が、利用数や人数の減少、やめる団体もありました。

利用者数は、前年比4.2%増加（47,000人→49,000人、2,000人増）

使用料収入は、前年比11.5%増加、（79,700円→88,900円、9,200円増加）

有料の子供向けダンス教室が増えたため。

### 2. 具体的業務および自主事業

「ふれあいセンター祭り」を復活させ、10月にふれあいセンター二階にて実施しました。

その他、学童保育への場所提供、及び自遊大学、銀行検定、麻雀大会、全珠算連検定等も会場として提供し協力してきました。

### 3. その他

① コロナ対策として、各会議室利用後の消毒を徹底して行いました。

② コロナ、インフルエンザ情報として、県及び富士北麓のコロナ発生状況を発表、都度掲示してきました。

③ 灯油、電気代の値上がりから、節電、ファンヒーターに切り替えての節約等を実施しました。

④ センター玄関ロビーにはフラワーサークルブリス吉田の皆さんの作品が飾られています。

⑤ 他に玄関ロビーにて、利用者学童向けクイズの掲示等を行って来ました。

# 青少年センター 赤い屋根 事業報告書

齋藤 容子

## 1. 具体的業務および自主事業

- ・スタッフ会議 毎月第1水曜日 約15名参加 (毎回)
- ・近隣清掃 隔月 約15名参加  
139号 (富士パノラマライン) 昭和医科大学入り口交差点から市道1号線、東富士五湖道路間約1.8Kmの清掃活動を行ってきました。
- ・継続の自主事業  
テディベア (軽スポーツ) 毎週火曜日と金曜日の午後  
三線サークル 隔週水曜日 午前  
オルケスタ若草 隔週水曜日 午後  
みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂、毎月第3金曜日 毎回80名以上参加  
レクリエーションホールでの運動や遊びのほか、コミュニケーション広場として餅つき、工作、絵手紙、コンサート、茶道体験など実施。  
富士山ジュニアカレッジ子ども茶道講座 (6/14~) 全5回実施 講師 齋藤  
中央社会学級「やさしい茶道講座」 (6/20~) 全10回実施 講師 齋藤

- 4月 5日 (土) バドミントン初級体験講座 10名参加
- 4月18日 (金) 第50回みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂、絵手紙教室
- 5月16日 (金) 第51回みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂、作って遊ぶ楽しい工作
- 5月24日 (土) 第23回NPO法人富士北麓まちづくりネットワーク定期総会
- 5月31日 (土) 「作って食べよう世界の家庭料理」講師エミリー
- 6月18日 (水) レクリエーションホール、和室床ワックス塗布
- 6月21日 (金) 第52回 みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂、ドローン体験教室
- 6月22日 (土) 富士山1・2・3歩、富士山扶桑教、新屋山神社散策 5名参加
- 6月24日 (火) 敷地・館内、害虫駆除
- 7月 2日 (金) 花いっぱい運動実施、ロビー前・入口花壇に 12名参加
- 7月12日 (土) 第2回やさしい富士山科学教室「アリ博士になろう」昭和医科大教授萩原先生
- 7月19日 (金) 第53回 みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂、太極拳体験、講師大滝綾子さん
- 8月22日 (金) 第54回 みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂 花火大会と盆踊り大会
- 9月 6日 (土) ソフト粘土体験教室 「お月見ウサギと団子」講師堀田享子 10名参加
- 9月19日 (金) 第55回 みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂 楽しい工作「フルーツパフェ」
- 10月 4日 (月) ほのぼのコンサート、シンガーソングライター「しらいみちよさん」
- 10月17日 (金) 第56回 みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂「大型絵本の読み聞かせ」
- 11月21日 (金) 第57回 みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂「昭和医科大寮祭招待」
- 11月24日 (月) ふじよしだし多文化共生フェスタ、市と共同開催
- 12月 1日 (月) 研修旅行、小野路宿里山交流館、大山阿夫利神社
- 12月13日 (土) 親子バドミントン教室
- 12月19日 (金) 第58回 みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂 クリスマスコンサート
- 1月16日 (金) 第59回 みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂 餅つき大会

- 2月20日(金) 第60回 みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂 スポーツゲーム体験  
 3月20日(金) 第61回 みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂 工作「ウサギ糞」

## 2. 建物・設備整備事業

富士吉田市の予算にて実施した事業

- ① 熱中症対策、エアコン1台設置、スポットクーラー3台設置
- ② 温水洗浄便座4台(1F男女、2F男女)

## 3. 建物維持管理事業

青少年センター収益にて実施した事業 1,982,412円

(内訳)

- ① エアコン設置(和室、洋室2台) 562,232円
- ② トイレ改修工事(和式を洋式に3か所) 750,200円
- ③ 温水洗浄便座(4台) 418,000円
- ④ レクホール遮光カーテン取り付け 202,260円
- ⑤ 防火シャッター感知バッテリー交換 31,130円
- ⑥ 置換材 18,590円

## 4. 独自事業

### 1. 沖縄三線教室(あしびどうし)

第2、3、4水曜日 10:00~11:30 青少年センターにて実施

### 2. 軽スポーツ(テディベア)

卓球・バドミントンを毎週金曜日、13:30~16:30 青少年センターにて実施

### 3. 音楽愛好家(オルケスタ若草)

楽器持ち寄り演奏、隔週水曜日、13:00~16:00 青少年センターにて実施

## 5. みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂

### 1. 毎月1回 第3金曜日開催、延べ1,201名参加

### 2. ご寄付額 51,000円 内訳(敬称略)

赤い羽根共同募金	30,000円
和光真子様	10,000円
堀内宏幸(布団店)	10,000円
市川伸様	1,000円

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	日時	実施場所	従業者数	受益対象者の範囲及び人数	予算額	決算額
①国際交流を推進するための事業	○海外研修生、留学生との情報交換、日本文化などの情報交換 ○日本語教育施設創立事業促進のために有効な事業の実施 ○その他 必要とする案件	通年	国内外	全 会 員 61名	国内外 対象及び 会員	50,000円	21,645円
②まちづくりのための事業	○多文化共生フェスタ ○ふれあいセンター祭り ○各種教養講座開催 ○みんなの食堂+こども食堂の運営 ○まちづくりに益する研修視察の実施	通年	富士北麓地域	全 会 員 61名	会員 行政機関	600,000円	1,212,124円
③広報事業	○機関誌「ぼちぼち」発行 ○ホームページの運用	通年	県内 全国	会員4名	国内・地 域住民 会員	300,000円	130,790円
④他団体、グループ、行政、企業との活動提携及び事業支援、協力事業	○行政に対して情報提供・企画・関連事業提案 ○全国のNPOやまちづくりに関する情報収集や実現に向けての支援 ○災害救援活動(避難所提供) ○環境保全活動参加 ○地域づくり事業における調査・ワークショップなどの支援 ○その他の団体活動協力	5月 9月 6月 通年 通年 10月 通年	青少年 センター ふれあ いセン ター 北麓 地域  市 内	全 会 員 賛 助 会 員  全 会 員 61名	地域住民 500名 地域住民 500名 地域住民 他団体 地域住民 他団体	100,000円	0円
⑤その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	○地域づくり事業における調査・ワークショップなどの支援	通年	県内 市内	若干名	地域住民	800,000円	234,416円
合 計						1,850,000円	1,598,975円

## (2) その他の事業

①公共施設の管理、運営受託事業	○市民ふれあいセンター管理・運営 (R3年4月～R8年3月)	5年 契約	市 内	会員9名	地 域 住 民・団 体 48,800人	8,800,000円	9,332,502円
	○青少年センター管理・運営 (R3年4月～R8年3月)	5年 契約	市 内	会員 29名	青 少 年 団 体、企 業 8,500人	19,821,000円	21,848,688円
②独自事業	○食育部管理・運営		青 少 年 セン ター	会員8名	青 少 年 団 体、企 業 5,300人	7,500,000円	8,626,790円
合 計						37,971,000円	39,807,980円

特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワーク  
2025年度事業区分別事業費一覧表

各区分における事業費は以下のとおりです。

(単位：円)

1. 国際交流を通じたまちづくり推進事業	21,648
2. まちづくりのための事業	1,212,124
3. 広報事業	130,790
4. 他団体、グループ、行政、企業との活動提携事業	0
5. その他法人の目的を達成するための事業	234,416
6-1. ふれあいセンター運営事業	9,332,502
6-2. 青少年センター運営事業	21,848,688
7. 食育に関する事業	8,626,790
合 計	41,406,955

令和 7 年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワーク

科 目	金 額 (単位:円)	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 入会金収入		
2 会費収入		
正会員会費収入	171,000	171,000
3 事業収入		
事業収入 NPO一般	160,500	
事業収入 ふれあいセンタ	889,630	
事業収入 青少年センター	11,389,040	
事業収入 食育	9,291,760	21,821,230
4 補助金等収入		
受託収入 ふれあいセンタ	8,394,000	
受託収入 青少年センター	11,500,000	
地方公共団体助成金収入	30,000	
民間助成金収入	30,000	19,954,000
5 負担金収入		
6 寄付金収入		
寄付金収入	21,000	21,000
7 雑収入		
受取利息	20,592	
雑収入	209,734	230,326
経常収入合計		42,197,556
II 経常支出の部		
1 事業費		
給料手当	20,313,480	
福利厚生費	226,659	
仕入	4,070,255	
教材費	5,330	
旅費交通費	7,000	
通信運搬費	388,433	
消耗品費	2,348,709	
修繕費	1,303,120	
印刷製本費	142,120	
光熱水料費	6,109,345	
賃借料	1,260	
保険料	74,550	
諸謝金	32,400	
租税公課	2,324,000	
負担金	44,351	
委託費	1,515,600	
リース料	1,371,435	
研修費	454,109	
交際接待費	25,130	
施設管理費	567,919	
雑費	81,750	41,406,955
2 管理費		
旅費交通費	1,670	
修繕費	76,258	
租税公課	8,155	
諸会費	2,000	
雑費	740	88,823
経常支出合計		41,495,778
経常収支差額		701,778
III その他資金収入の部		

科 目	金 額 (単位：円)	
1 固定資産売却収入		
2 敷金・保証金収入		
3 借入金返済収入 短期借入金収入	475,500	475,500
4 特定預金収入		
5 繰入金収入 繰入金収入	1,070,000	1,070,000
その他資金収入合計		1,545,500
IV その他資金支出の部		
1 固定資産取得支出		
2 敷金・保証金支出		
3 借入金返済支出 短期借入金返済支出	475,500	475,500
4 特定預金支出		
5 繰入金支出 繰入金支出	1,100,000	1,100,000
その他資金支出合計		1,575,500
当期収支差額		671,778
前期繰越収支差額		1,062,520
次期繰越収支差額		1,734,298
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額		671,778
2 負債減少額		
短期借入金返済額		475,500
増加額合計		1,147,278
VI 正味財産減少の部		
1 資産減少額		
構築物減価償却額		97,789
什器備品減価償却額		67,135
2 負債増加額		
短期借入金増加額		475,500
減少額合計		640,424
当期正味財産増加額		506,854
前期繰越正味財産		1,556,617
当期正味財産合計		2,063,471

令和 7 年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

令和 8 年 3 月 31 日 現在

特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワーク

科 目・摘 要	金 額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金			
NPO本部	35,413		
ふれあいセンター	160,724		
青少年センター	17,182		
食育	252,307		
釣り銭	20,000		
みんなの食堂	294,576		
普通預金			
NPO本部			
山梨中央銀行吉田支店	67,879		
山梨中央銀行吉田支店 (国際交流積立金)	1,002,644		
ふれあいセンター			
中央労働金庫富士吉田支店	721,843		
青少年センター			
中央労働金庫富士吉田支店	2,700,139		
食育			
中央労働金庫富士吉田支店	4,036,837		
定期預金			
NPO本部			
山梨中央銀行吉田支店	1,301,802		
売掛金	2,538,090		
未収金	99,402		
前払金	423,942		
貯蔵品	100,083		
預託金	5,770		
流動資産合計		13,778,633	
2 固定資産			
NPO本部			
空気清浄機	79,246		
青少年センター			
駐車場造成	26,092		
舗装工事 (進入路)	705,834		
薪ストーブ	1		
除雪機 (中古)	1		
トイレ	42,345		
トイレ	42,345		
薪ストーブ	1		
ノートパソコン	1		
食育			
業務用冷凍冷蔵庫	1		
冷蔵庫	1		
ミニキャブ (中古)	1		
固定資産合計		895,869	
資産合計			14,674,502
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	457,191		
未払金	1,033,800		
未払費用	4,320,098		
預り金	5,509		
仮受金	4,980		
流動負債合計		5,821,578	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			5,821,578
正味財産			8,852,924

令和 7 年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

令和 8 年 3 月 31 日 現在


特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワーク


科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金及び預金	10,611,346		
未収金	99,402		
前払金	423,942		
売掛金	2,538,090		
預託金	5,770		
貯蔵品	100,083		
流動資産合計		13,778,633	
2 固定資産			
構築物	1,147,000		
構築物減価償却累計額	△ 415,074		
車両運搬具	491,870		
車両運搬具減価償却累計額	△ 491,869		
什器備品	2,793,197		
什器備品減価償却累計額	△ 2,629,255		
固定資産合計		895,869	
資産合計			14,674,502
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	457,191		
未払金	1,033,800		
預り金	5,509		
未払費用	4,320,098		
仮受金	4,980		
流動負債合計		5,821,578	
2 固定負債			
負債合計			5,821,578
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,556,617	
当期正味財産増加額		506,854	
正味財産合計			8,852,924
負債及び正味財産合計			14,674,502

# 監 査 報 告 書

特定非営利活動法人  
富士北麓まちづくりネットワーク  
代表理事 飯田勇夫 殿

令和8年5月17日

監 事 小野 貞幸 

監 事 早川 宏 

私たちは、特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワーク定款、第15条の規定に基づき、2025年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）の業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。

業務監査の方法は理事会の議事録、関連する資料を閲覧するほか理事から事業の報告を聴取し、また財産の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得て行いました。

監査の結果、業務の執行状況及び会計処理は定款に基づき、適正に執行され処理されているものと認められます。

以上

第2号議案

2026年度役員

自2026年5月23日至2028年任期満了の日まで（任期2年）

特定非営利活動法人

富士北麓まちづくりネットワーク

役職名	ふり 氏が なが名	住所又は居所	電話番号
理事（留任）	いいた いさお 飯田 勇夫		
理事（留任）	さいとう ようこ 齋藤 容子		
理事（留任）	さとう ゆうぞう 佐藤 雄三		
理事（留任）	わたなべ よしひろ 渡邊 義広		
理事（留任）	たなべ 田辺まゆみ		
理事（留任）	かとう まさき 加藤 正貴		
理事（新任）	さかき みつお 榊 三男		
理事（新任）	わたなべ あけみ 渡邊 明美		
監事（留任）	おの さだゆき 小野 貞幸		
監事（留任）	はやかわ ひろし 早川 宏		

## 2026年度事業計画並びに予算（案）

### 1. 事業実施の方針

NPO法人富士北麓まちづくりネットワークは、定款第3条及び第5条に定めるところにより、その目的達成のため次の事業を計画します。

### 2. 2026年度事業計画（案）

#### (1) 特定非営利活動に係る事業計画

##### ① 国際交流を推進するための事業

国籍に関係なく、同じ地域に住む住民同士による地域づくりを目的に、「多文化共生フェスタ」を11月8日に富士吉田市と共催で開催します。

具体的には近隣に所在する大学生を含め、富士吉田市及び国際親善委員会などと連携し昨年引き続き国際交流イベントを企画し、協力体制を整備しながら取り組むと同時に、外国籍住民には、行政や子ども食堂のネットワーク、地域情報を活用しながらその所在を把握し多くの方々が参加できるよう拡充を図っていきます。

##### ② まちづくりのための事業

「持続可能なまちづくり」のため、活躍している全国のNPOとの意見交換、情報交換を含め地域が取り組むイベントや講演活動などに積極的に参加して行きます。

また、子育て支援をはじめとした居場所づくりやフードパントリーに取り組み、「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」を継続的に運営して行きます。

##### ③ 広報事業

会員広報担当の努力によって会報「ぼちぼち」は、本法人発足と同時に刊行し2年間一度として欠刊することなく会員、地域住民、行政及び全国のボランティア組織に送り届けてきました。

今後は会報のほかホームページ <https://www.mfi.or.jp/~machizukuri/>も充実させ、全国に向け情報をリアルタイムに発信し、富士北麓まちづくりネットワークを知っていただき、併せて法の要求している公告事項もこの中で開示して行きます。

##### ④ 他団体、グループ、行政、企業との活動提携及び事業支援、協力事業

市民ふれあいセンター・青少年センター赤い屋根を拠点として活動している団体やグループとの積極的ふれあいの場作りに努めます。さらに、スキルアップを図るための教養講座を開設していく事はもちろん、地域で活動している他の指定管理団体との連携やコミュニティ活動への積極的な協力を図って行きます。

## (2) その他の事業

### ① 公共施設の管理、運営受託事業

「市立市民ふれあいセンター」 市民協働推進課より委託された「指定管理」事業

2006年（平成18年）初回指定管理を受けそれから20年、その間の貴重な経験をもとに、更なる利用者サービスに努めていきます。

今までの経験とノウハウを行政にアピールする中で、具体的には高齢化社会に向け、文字通りふれあいの場として過ごせるように施設の改修を進めていきます。

環境保全の視点から灯油地下タンクを地上への設置変更、2階大会議室と小会議室の間仕切り（パーティション）の修理等について、市と協議し、予算確保に向けて取組んでいきます。

「市立青少年センター 赤い屋根」生涯学習課より委託された「指定管理」事業

地球温暖化の影響から熱中症対策など、利用者の安全と安心そして快適な環境整備を行っていきます。

また、片岡伸介画伯の常設展示場としての役割を持たせたセンターを、今後も美術絵画学習の場所として活用し、更なる充実を図っていくため教育委員会を通して地域小中学校への働きかけをしていきます。

これら二施設は令和8年3月31日をもって更新を迎えました。

- ・市民ふれあいセンター、令和8年4月1日～令和13年3月31日まで
- ・青少年センター赤い屋根、令和8年4月1日～令和11年3月31日まで

### ② 独自事業 食育部

青少年センターを利用される多くの方のアンケート結果では、価格メニュー内容ともに「大いに満足・満足」が80%と評価を頂いています。一方、量の問題やメニューを増やして欲しい要望もあり、「みんなの食堂+子ども食堂」と合わせメニュー提供内容を検討していきます。

また、材料費の高騰から、スタッフの努力により少しでも安くて良いものを提供できるよう食材の調達方法についても合理化を図り進めていきます。

# 市民ふれあいセンター管理・運営事業計画（案）

報告：佐藤雄三

## 管理運営方針

指定管理5年更新の初年度になります。初心に帰り慢心することなく、スタッフ一同心ひとつにして運営していきます。

利用者への気配りも大切にしていきます。

築43年以上のセンター維持のため、毎日の清掃をはじめ、環境向上に努め、ぬくもりのある施設運営を目指していきます。

なお、昨年度は市の配慮により2階の3室にエアコンが設置され暑さ対策に万全を期し、冬はボイラーと併用し燃料費の削減をめざします。

今後は、パソコンを使用して、各種提出書類の作成等、引き続き事務合理化を進めていきます。

### （1）管理運営の具体的取組について

- ① スタッフ会議を適時行い意思の統一を図っていきます。
- ② センター内の点検を行い、無駄を省き経費の節減に努めていきます。
- ③ 情報活動の重要性に鑑み、Access（データベースソフト）を有効活用していきます。
- ④ ふれあいセンター祭りを主催し、利用者に発表の場を提供していきます。
- ⑤ 気配り、目配りを怠りなく、市民と共に築く施設として挨拶を継続していきます。

### （2）緊急時対策について

- ① センター長と共に日常業務に当たるスタッフを“防火管理者”として配置します。
- ② 上記に対し、毎年、市関係部門の指導・研修を受けていきます。
- ③ 緊急時の警報・警報システムの確立、避難経路の確保、掲示、利用者の説明を随時行います。
- ④ 利用者の安全と安心を心がけ日常的に防災意識の向上に努めます。
- ⑤ 通報先の確保と連絡手段の明確化を行います。
- ⑥ 消火器、非常警報装置の取り扱い訓練を行います。

### （3）年間行事予定

麻雀大会、囲碁大会、全珠連検定試験、銀行検定試験はそれぞれで可能かその都度検討していきます。

- ① ふれあいセンター祭りは10月18日（日）
- ② 「多文化共生フェスタ」11月8日（日）市と合同開催をしていきます。
- ③ 夏季：敷地、駐車場の周辺、草取り整備
- ④ 冬季：大掃除の実施、敷地内除雪作業

## 市立青少年センター赤い屋根 管理・運営事業計画（案）

特定非営利活動法人富士北麓まちづくりネットワーク（以下「まちづくりネットワーク」という）は、富士吉田市立青少年センター（以下「青少年センター」という）の運営基準に基づき以下のとおり自主事業計画を定めます。

変化の激しい現代社会において、青少年が社会生活のために身に付けなくてはならないことは極めて多く、その内容も不断に変化しており、家庭や学校だけでこれらを習得することは非常に困難な状況にあります。

地域社会との接触が希薄になりがちな現代の青少年にとって、積極的に社会への参加を促すような青少年健全育成事業の必要性が高まっており、少子高齢化やグローバル化の中で、富士北麓地域の特性を生かし、国際社会に貢献する人材づくりが求められています。

また、施設面においても、富士山麓の豊かな自然をフィールドとして、多くの人々が国際交流や国際理解、学術・研究機関の拠点としての活用の必要性が高まっています。

上記状況を鑑み、青少年センターでは、自主事業として次の業務を実施します。

### ①青少年の健全育成のための催し、講座の実施に関する業務。

青少年の健全育成のために青少年に自主的かつ創造的な活動交流、親子ふれあい、仲間づくりの機会を与える体験事業やその他青少年の健全育成の達成に必要と認められる事業を実施します。

### ②青少年を指導する者の育成のための講座の実施に関する業務

地域や職場のリーダーを養成する一貫として、レクリエーションインストラクター等の資格の取得を目指す講座等を実施します。

### ③施設及び主催事業の広報に関する事業

広報誌、その他のメディアを利用し、青少年センターの情報を提供するとともにホームページを充実させ、施設の規模、機能、主催している事業内容の紹介等を適時掲載し施設の利用促進を図っていきます。

まちづくりネットワークでは、上記業務運営基準に基づき、以下の事業を実施します。

1. 子育て中の母親の心身リフレッシュを図る事業。
2. 安全・安心な施設と自然を生かした子供のための事業。
3. 家族のコミュニケーションの場を提供する事業。
4. スポーツ少年団や文化団体等の広域交流の場を提供する事業。
5. 友だち関係づくりの場を提供する事業。
6. 青少年・一般人の体力アップを図る事業。
7. 世界に誇れる日本の伝統を次世代に引き継ぐための研修事業。

なお、管理運営業務基準に基づく事業を実施することから、事前に実施日等詳細を報告するとともに、使用料の減免申請を提出し、富士吉田市と協議していきます。

## 青少年センター赤い屋根 2026年度事業計画(案)

齋藤容子

- \* 宿泊及び施設貸し事業
- \* 月例スタッフ会議及び近隣清掃(毎月第一水曜日実施)
- \* 片岡伸介氏の絵画 常設展示
- \*
- 4月17日(金) みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂(毎月第3金曜日)
- 4月18日(土) 親子バドミントン教室(全12回)
- 5月23日(土) NPO法人富士北麓まちづくりネットワーク定期総会
- 6月5日(金) 中央社会学級茶道「やさしい茶道・テーブル式」(全10回)
- 6月6日(土) 富士山ジュニアカレッジ子供茶道教室(全5回)
- 6月11日(木) 中央社会学級「シャドーボックス」(全10回)
- 6月17日(水) 春の花いっぱい運動、花壇
- 6月18日(木) レクリエーションホール床ワックス塗布
- 6月19日(木) 害虫駆除
- 7月4日(土) 富士山1・2・3歩
- 7月11日(土) 「やさしい富士山科学教室」
- 9月6日(日) 「ソフト粘土体験教室」お月見ウサギを作りませんか
- 9月9日(水) 防災訓練
- 10月14日(水) 春の花いっぱい運動、花壇
- 10月17日(土) 「赤い屋根ほのぼのコンサート」+「中央社会学級、発表茶会」
- 11月8日(日) 多文化共生フェスタ
- 11月22日(土) 「作って食べよう!世界の家庭料理」
- 11月30日(月) スタッフ研修
- 2月3日(水) 防災講習「危機管理ガイドライン」によるスキルアップ
- 3月20日(土) 沖縄三線初級体験講座

### 継続の自主事業

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 「みんなの食堂赤い屋根+子ども食堂」 | 毎月第3金曜日 17時~20時     |
| 2. 「テディベア」バドミントン      | 毎週火・金曜日 13:00~16:00 |
| 3. 「あしびどろし」沖縄三線サークル   | 月3回水曜日 10:00~11:30  |
| 4. 「オルケスタ若草」音楽サークル    | 月2回水曜日 13:00~15:30  |

### 3. 2026年度予算(案)

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	日時	実施場所	従業者数	受益対象者の範囲及び人数	予算額
①国際交流を推進するための事業	○海外研修生、留学生との情報交換、日本文化などの情報交換 ○日本語教育施設創立事業促進のために有効な事業の実施 ○その他 必要とする案件	通 年	国内外	全 会 員 61 名	国内外 対象及び 会員	50,000 円
②まちづくりのための事業	○多文化共生フェスタ ○ふれあいセンター祭り ○各種教養講座開催 ○みんなの食堂+こども食堂の運営 ○まちづくりに益する研修視察の実施	通 年	富士北 麓地域	全 会 員 61 名	会員 行政機関	1,300,000 円
③広報事業	○機関誌「ぼちぼち」発行 ○ホームページの運用	通 年	県 内 全 国	会員 4 名	国内・地域 住民 会員	300,000 円
④他団体、グループ、行政、企業との活動提携及び事業支援、協力事業	○行政に対して情報提供・企画・関連事業提案 ○全国の NPO やまちづくりに関する情報収集や実現に向けての支援 ○災害救援活動 (避難所提供) ○環境保全活動参加 ○地域づくり事業における調査・ワークショップなどの支援 ○その他の団体活動協力	11 月 6 月 通 年 10 月	青少年 センター ふれあ いセン ター 北 麓 地 域 市 内	全 会 員 61 名	地域住民 500 名 地域住民 500 名 地域住民 他団体 地域住民 他団体	100,000 円
⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業	○この法人の目的を達成するために必要な事業	通 年	県 内 市 内	若干名	地域住民	500,000 円
合 計						2,250,000 円

#### (2) その他の事業

①公共施設の管理、運営受託事業	○市民ふれあいセンター 管理・運営 (R8年4月～R13年3月)	5年契約	市内	会員 9 名	地域住民・ 団体 23,000 人	9,500,000 円
	○市立青少年センター 管理・運営 (R8年4月～R11年3月)	3年契約	市内	会員 20 名	青 少 年 団 体、企業 6,000 人	23,030,000 円
②独自事業	○食育部管理・運営		青少年 センター	会員 7 名	青 少 年 団 体、企業 3,500 人	9,280,000 円
合 計						41,810,000 円

特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワーク  
2026年度事業区分別事業費一覧表

各区分における事業費は以下のとおりです。

(単位:円)

1. 国際交流を通じたまちづくり推進事業	50,000円
2. まちづくりのための事業	1,300,000円
3. 広報事業	300,000円
4. 他団体、グループ、行政、企業との活動提携事業	100,000円
5. その他法人の目的を達成するための事業	500,000円
6-1. ふれあいセンター運営事業	9,500,000円
6-2. 青少年センター運営事業	23,030,000円
7. 食育に関する事業	9,280,000円
合 計	44,060,000円

## 令和 8 年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

令和 8 年 4 月 1 日 から 令和 9 年 3 月 31 日 まで

## 【当期予算】

特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワーク

科 目	金 額 (単位: 円)	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 入会金収入		
2 会費収入		
正会員会費収入	180,000	180,000
3 事業収入		
事業収入 NPO一般	200,000	
事業収入 ふれあいセンタ	900,000	
事業収入 青少年センター	11,000,000	
事業収入 食育	9,450,000	21,550,000
4 補助金等収入		
受託収入 ふれあいセンタ	8,500,000	
受託収入 青少年センター	11,930,000	20,430,000
5 負担金収入		
6 寄付金収入		
7 雑収入		
受取利息	20,000	
雑収入	300,000	320,000
経常収入合計		42,480,000
II 経常支出の部		
1 事業費		
給料手当	20,800,000	
福利厚生費	250,000	
仕入	4,300,000	
教材費	10,000	
旅費交通費	10,000	
通信運搬費	400,000	
消耗品費	2,500,000	
修繕費	2,000,000	
印刷製本費	200,000	
光熱水料費	6,200,000	
賃借料	10,000	
保険料	100,000	
諸謝金	50,000	
租税公課	2,500,000	
負担金	50,000	
委託費	1,800,000	
リース料	1,500,000	
研修費	500,000	
交際接待費	50,000	
施設管理費	600,000	
雑費	230,000	44,060,000
2 管理費		
旅費交通費	10,000	
修繕費	100,000	
租税公課	10,000	
諸会費	10,000	
雑費	152,824	282,824
経常支出合計		44,342,824
経常収支差額		△ 1,862,824
III その他資金収入の部		
1 固定資産売却収入		
2 敷金・保証金収入		
3 借入金返済収入		

8603 特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワーク

科	目	金額 (単位:円)	
4	特定預金収入		
5	繰入金収入		
IV	その他資金支出の部		
1	固定資産取得支出		
2	敷金・保証金支出		
3	借入金返済支出		
4	特定預金支出		
5	繰入金支出		
	当期収支差額		△ 1,862,824
	前期繰越収支差額		1,862,824